

プー ウェイ リンさんのレポート

一日目は、浅間神社へ行きました。富士山の麓にある浅間神社は、富士山信仰の中心地として知られています。到着し最初に手水舎で手と口を清め、心身を清めてから参拝しました。湧玉池からの清らかな水は、とても清々しい気分になりました。拝殿では、二礼二拍手一礼の作法に従って参拝しました。富士山の神々に感謝と祈りを捧げ、心が洗われるような感覚を覚えました。浅間神社は、富士山の信仰と自然の美しさが融合した素晴らしい場所です。歴史と文化に触れながら、心身ともにリフレッシュできる場所で、ぜひまた訪れたいと思います。

そして次に熱海城へ行きました。熱海城は、熱海市のシンボリックな観光スポットとして知られています。熱海城は1960年代に観光施設として建設された模擬城です。実際の歴史的な城郭ではありませんが、日本の城の建築様式を再現しており、観光客に人気のスポットです。そして、天守閣は5階建てで、各階にさまざまな展示やアトラクションがあります。天守閣の最上階にある展望台からは、熱海市街地、相模湾、そして天気の良いれば富士山も望むことができます。この日は天気に恵まれ、素晴らしい景色を楽しむことができました。また、各階には、日本の歴史や文化に関する展示があります。特に、鎧や刀剣の展示は興味深く、日本の戦国時代に思いを馳せることができました。展示室の内容は非常に充実しており、日本の歴史や文化について深く学ぶことができました。特に、鎧や刀剣の展示は迫力がありました。展望台からの絶景や充実した展示、楽しい体験コーナーなど、見どころがたくさんあり、一日中楽しむことができました。

そして初日の最後に、静岡県立美術館へ行きました。静岡県立美術館は、静岡県の文化と芸術を集めた施設として有名な場所です。そこで、日本画、洋画、彫刻、工芸品など、幅広いジャンルの作品を所蔵しています。特に、静岡県ゆかりの作家の作品が充実しています。美術館の外には広大な彫刻庭園があり、自然の中に彫刻作品が配置されています。散策しながら芸術を楽しむことができました。そして、特別展の作品は、自然の美しさと人間の営みをテーマにしたものが多く、私は一番心に残りました。特に、ある現

代アーティストのインスピレーション作品は、自然と人間の関係を考えさせられるものでした。静岡県立美術館は、静岡県の文化と芸術を集めた素晴らしい施設です。彫刻庭園の散策も心地よく、芸術と自然を同時に楽しむことができました。

二日目は、初めて大涌谷へ行きました。大涌谷は箱根の有名な観光地で、地熱活動による噴気や温泉が特徴です。特に、大涌谷で販売されている「黒たまご」は、健康に良いとされる伝説の卵として知られています。大涌谷には、地熱活動を間近で見られる遊歩道や展望台があり、自然の力を感じることができます。そして、大涌谷の遊歩道を歩くと、地熱による噴気が立ち上る様子を間近で見ることができます。硫黄の匂いが強く、地球の力を実感しました。展望台からは、大涌谷の全景と、天気が良ければ富士山も望むことができます。この日は少し曇っていましたが、それでも雄大な景色を楽しむことができました。大涌谷で有名な「黒たまご」は、地熱でゆでられた卵で、殻が硫黄の作用で真っ黒になります。伝説によると、1個食べると7年寿命が延びると言われています。本当かどうか分からないけど、私は2個食べました。味は普通のゆで卵と同じでしたが伝説を信じて食べると、何だか元気が出たような気がしました。大涌谷は、地熱活動による自然の驚異を間近で体験できる素晴らしい場所でした。

その後、バスで箱根海賊船へ行きました。箱根海賊船は、箱根の芦ノ湖を航行する観光船で、海賊船を模したデザインが特徴です。そのユニークな船旅と芦ノ湖の美しい景色を楽しむことが目的でした。海賊船を模したデザインは、子供から大人まで楽しめる人気の観光スポットです。箱根町港、元箱根港、桃源台港の間を結んでおり、各港から乗船することができます。そして、船内は海賊船を模したデザインで、甲板や船室には海賊の装飾が施されています。特に、船首の像や帆のデザインが印象的でした。芦ノ湖を航行中には、湖の美しい景色と周囲の山々を楽しむことができます。天気が良ければ、富士山も望むことができます。また、甲板からの風を感じながらの船旅は、とてもリフレッシュできました。船旅を通じて、箱根の自然と文化を感じることができました。季節を変えて訪れ、春の桜や秋の紅葉の時期の景色も楽しみたいと思います。また、箱根

の他の観光スポットとも組み合わせて、一日かけてゆっくりと楽しみたいと考えています。

そして最後の日に、私たちは江の島神社へ行きました。江の島神社は、江の島の頂上にある由緒ある神社で、海の神様として信仰されています。今回の訪問は、その歴史と美しい景色を体験し、心身をリフレッシュすることが目的でした。その江の島神社は、辺津宮（へつみや）、中津宮（なかつみや）、奥津宮（おくつみや）の三つの宮からなり、それぞれに異なる神様が祀られています。そして、江の島入口から最初に訪れる辺津宮は、江の島神社の中心的な存在です。ここでは、交通安全や商売繁盛の祈願が行われています。江の島神社は、海に囲まれた静かな場所にあり、神聖な雰囲気が漂っていました。参拝することで、心が落ち着き、リフレッシュすることができました。

そして次に、江の島シーキャンドルへ行きました。江の島のシンボルとも言える展望タワーで、その名の通り海に浮かぶキャンドルのような形をしています。江の島シーキャンドルは、2003年にオープンした展望タワーで、高さは約60メートルあります。その名の通り、海に浮かぶキャンドルのようなデザインで、夜にはライトアップされ、幻想的な雰囲気を醸し出します。展望台からは、相模湾や江の島の全景、そして天気の良い日は富士山も望むことができます。特に、夕日の時間帯は絶景で、多くの観光客が訪れます。展望台からの景色は、まさに絶景でした。相模湾の青い海と空のコントラストが美しく、写真に収めたくなるほどでした。特に、夕日の時間帯は幻想的な景色を楽しむことができました。夜のライトアップは、昼間とはまた違った雰囲気で、とてもロマンチックでした。海に浮かぶキャンドルのように輝くシーキャンドルは、見ているだけで心が癒されました。

最後に訪れた場所は、江の島岩屋でした。江の島岩屋は、江の島の西側にある海蝕洞窟で、古くから信仰の場として知られています。そして、江の島岩屋は、約6000年前に形成された海蝕洞窟で、古くから信仰の場として知られています。特に、江の島神社の奥の宮としても信仰されています。岩屋は第一岩屋と第二岩屋の二つの洞窟からなり、それぞれに異なる神様が祀られています。第一岩屋は、江の島岩屋の入口に位置し、洞

窟内には弁財天が祀られています。洞窟内はライトアップされており、神秘的な雰囲気が漂っています。第一岩屋から少し進んだところにある第二岩屋は、さらに深い洞窟で、龍神が祀られています。洞窟内は暗く、ライトアップされた光が幻想的な雰囲気を作り出しています。また、洞窟内はライトアップされており、神秘的な雰囲気が漂っていました。特に、第二岩屋の深い洞窟は、自然の力を強く感じさせました。窟内には、古い石碑やお堂があり、歴史を感じることができました。江の島岩屋は、洞窟内の神秘的な雰囲気と歴史の重みを感じることができ、自然の驚異と歴史が融合した素晴らしい場所です。本当に心からまた訪れたいと思います。